

令和3年11月10日

魚沼市議会議長 関 矢 孝 夫 様

産業厚生委員会

委員長 佐 藤 肇

産業厚生委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査の総括  
(2) その他

- 2 調査の経過 11月10日に委員会を開催し、10月26日に現地調査した国道17号浦佐バイパス、四日町排水ポンプ場、社会福祉法人魚沼更生福祉会 またたびの家、須原スキー場、寿和温泉及び(一社)魚沼ものづくり振興協議会(U-big)との意見交換の総括を行った。

その他で、介護職員アンケート結果について、開業支援の拡充について及びスキー場について、執行部から説明を受け、質疑を行った。

また、四日町排水ポンプ場に関連して、田んぼダムの取組について説明を受け、質疑を行った。

魚沼市有機センター(脱臭設備)について執行部から説明を受け現地調査を行った。

# 産業厚生委員会会議録

## 1 調査事件

### (1) 現地調査の総括

### (2) その他

- ・ 介護職員アンケート結果について
- ・ 開業支援の拡充について
- ・ スキー場について
- ・ 魚沼市有機センター（脱臭設備）

2 日 時 令和3年11月10日 午後1時30分

3 場 所 本庁舎3階 委員会室

4 出席委員 佐藤達雄、浅井宏昭、大桃俊彦、富永三千敏、志田 貢、佐藤敏雄、  
渡辺一美、佐藤 肇、高野甲子雄（関矢孝夫議長）

5 欠席委員 なし

6 説明員 武藤産業経済部長、小島市民福祉部副部長、星産業経済部副部長、  
岡部健康増進課長、鈴木観光課長、吉田商工課長、大羽賀農政課長

7 書記 佐藤議会事務局長、和田議会事務局次長、大竹主任

8 経 過

開 会 (13:30)

佐藤（肇）委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから産業厚生委員会を開会します。本日の日程はお配りのとおりであります。

### (1) 現地調査の総括

#### ・ 国道17号浦佐バイパス

佐藤（肇）委員長 日程第1、現地調査の総括を議題とします。6か所まわって来たわけですが、1か所ずつそれぞれ皆さまのご意見を頂戴し、それをまとめて総括にさせていただきたいと思っております。最初に国道17号浦佐バイパスの視察についてご意見をいただきたいと思っております。挙手にてお願いします。

大桃委員 十字路、交差点の所なんですけど、浦佐から車で来ると手前が傾斜になっていて上り坂になっています。上り坂を過ぎるとすぐに交わって交差点というような状況ですし、虫野のほうから来て大浦に渡る普通の交差点ですけども、アールになっている所があって

非常に事故の可能性があると思って見て来たのですが、今、盛んにニュースなどで聞くのは上り坂を登って間もなく交差点、見晴らしがよくても悪くても事故の件数が多いというようなニュースを聞くものですから、コメリホームセンターの上のところでインターから出て原信に向かうところの十字路口もスタートした時にはけっこう事故がありました。同じような傾向で、その所も事故が発生する可能性があるんじゃないかと思って私は帰ってきたんですけども、そのところを注意してみたいって欲しいなというのが感想です。それとですね、あそこに歩道がありますけど、歩道というのはその地区の要望があったのか、交差点の付近なので歩道をつけたのか、ここだけなんでかなと思ったことも一つあります。以上です。

高野委員 浦佐から来て虫野の下口の交差点になるところがあるのですが、朝の通勤時間帯は、あの辺が非常に車が混んで渋滞するという事なんですけど、その辺の対策なり信号の設置みたいなものは考えられているのでしょうか。その辺が、どうなっているのか心配というか、でき上がったのを見て感じました。

佐藤（肇）委員長 あそこは信号がつくということなんです。

渡辺委員 当初、まわりの住民の方から、なんであんなところにトンネルを造るのか、わざわざあそこにしなければならない理由はなんなのかということで、結構問い合わせがありました。私も正直なところ、あそこにバイパスを造ったからといって、どれだけ基幹病院に早く行くものでもないかと、正直、疑問符がありました。ただ、今回説明の中で旧17号になりますけれども、冬期間、非常に渋滞があったり、除雪車が前にいるとなかなか追い越せなかったりとかいろんな意味で、冬期間はあそこが開通すると通勤の方々にはかなり利便性があるというようなことを説明いただき、私も六日町に通っていたことがありますので、雪の壁に入ってトラックの運転手から助けてもらったことを思い出しながら、確かにこの道路は必要なものであると、しかも、もし渋滞に巻き込まれて救急車が基幹病院に運んでいけないようなことがあれば、命に関わる問題なので、この道路の意味を改めて分かった次第であります。それと、今回見せていただいた大浦の十字路口ですが、信号がなければいけない道路ではないかという気がしました。ただ時間帯によっては、全く必要ないような時間帯もありますので、もし信号をつけるのであれば、車が来たことを感知するような信号機がいいのではという感想を持ちました、以上です。

佐藤（肇）委員長 ほかにご意見ございませんか。（なし）ないようですので以上とさせていただきます。開通の日程が前回示されませんでしたでしたが、今回分かりましたか。まだ出ていませんか。

星産業経済部副部長 開通の日なんですけど、長岡国道事務所と打合せしておりますが、まだ正確な日は決まっておられません。ただ年内には開通する予定になっています。

#### ・四日町排水ポンプ場

佐藤（肇）委員長 それでは、次にいきたいと思います。次に四日町排水ポンプ場について、意見をいただきたいと思います。

佐藤（達）委員 四日町排水ポンプ場は平成23年の新潟・福島豪雨、その時の床上浸水72戸、床下浸水が180戸と、こういった浸水被害に対しまして対策をされていると伺いました。排水ポンプの能力としてはトータル秒あたり3.9立方メートルで、このポンプの能力ですと同

様の水害がきた場合に床上浸水が軽減されることが目標ですが、軽減の程度が床上浸水を72戸から40戸に抑えられるとの説明を受けました。あれだけの設備を造れば同様の水害の時にゼロ戸に近いような状況にできるのではという気がしました。ポンプの能力を上げれば容量を増やさなくても床上浸水を抑えられるのではないかと疑問を持ちました。県内では田んぼダムが進んでいますが、考慮された容量なのか確認させていただきたいと感じました。

佐藤（敏）委員　　今の話とほとんど同じですが、田んぼダムは効果があるように聞いてますし、県の補助金と並行して、それに先んじてできるだけ早い機会に、関係の所を一番に進めるべきだと強く感じました。

佐藤（肇）委員長　　ほかにございませんか。現地みて、また分からないことがあれば、ここで質問を取りたいと思いますが。

渡辺委員　　平成23年の水害と同程度のものであれば、それほど多くの方々を救えないということで、水田のほうで水をどのように貯めていくかの話があり、検討中とのことですが、どの程度、どこの田んぼになるのか先ほど話がありましたが、早めに計画ができた時点で私達もしっかりコミットしていきたいというか、早めに話を聞かせていただきたいと思いました。以上です。

佐藤（肇）委員長　　ほか現場のほうはいいでしょうか。（なし）ないようですので、現地でお話がありました水田をダムの的に使うという説明がありましたが、具体的な話がありましたらお願いします。

星産業経済部副部長　　田んぼダムの件につきましては、見附市で取組をしていて、そこに関わっている新潟大学の先生と相談をしております。四日町地区で田んぼダムをした場合にどの程度の効果があるのか検証をしてくれると伺っています。検証の結果、効果が上がるようなら、いろいろな対策を検討していきますが、まずは検証のほうを先生からしてもらっているところです。検証は費用がかからずしてくれるそうなのでお願いしているところです。

佐藤（肇）委員長　　しばらくの間、休憩します。

休　　憩（13：44）

（休憩中に懇談的に意見交換）

再　　開（13：46）

佐藤（肇）委員長　　休憩を解き、会議を再開いたします。ほかにありますか。（なし）ないようでしたら四日町排水ポンプ場については以上とさせていただきます。

#### ・社会福祉法人魚沼更生福祉会　またたびの家

佐藤（肇）委員長　　次に社会福祉法人魚沼更生福祉会またたびの家について意見をいただきたいと思います。

志田委員　　立派な施設ができて地域の方も喜んでいると思います。また地域と交流を広げる

ということでカフェという部分もでき、大変いいことだなと思います。建物は立派なんですけど、更地のところに造った建物ではありませんので、まわりとの道路の勾配や高低差があって、これから雪が降り除雪が当然あるわけですが、平らな場所ではありませんので、除雪機械、隣接する民家の除雪等々の関係もごさいますので、除雪を担当される方が現場確認をしっかりと、また民家の方とのトラブルがないよう除雪の対策を考えてもらいたいと思います。

渡辺委員　新しい施設でしたし、事業内容も説明していただきながら、今後期待していきたいと思いました。また近くにグループホームもできまして、障害を持っている方が地域の中で自分らしく生活するというコンセプトの中では、健康センターの所には包括支援センターも入りましたし、地域的にはいい場所に造られたのではと思いました。またたびの家に相談業務がないとなっていますが、北部地域でも障害の方たちの相談の拠点となるように相談室を設けていきたいとお話を聞かせていただきました。将来的には国では地域包括支援センターの中に子どもや障害者を包括的に支援していけるような整備をしていきたいと思っているようですので、魚沼市の中では先進的に連携しながら、できることを模索していける地域になるのではないかと期待をもって見てきました。

大桃委員　視察して、働く喜びや人との関わりを体験しながら社会参加、社会復帰を目指していると伝わってきました。カフェもありますが日替わり弁当をもっと市民と関わりを深くしながら幅広く受注を受けていければいいと思っていますが、配達する人が少ないとか、数や量がこなせない等の理由はあったかと思いますが、スタートした今だからこそ、フォローしていける態勢をつくっていただきたいと強く感じてきました。

渡辺委員　配食サービスについて、今、社協がしている配食サービスは全てコロナ禍でボランティアさんが作っているところがなくなりました。またボランティアさんの高齢化に伴って今後維持していくことも厳しいのではとの声も聞こえてきています。社協との連携の中で障害者の方々と一緒になりながら、やっていける可能性もあるのではないかと感じています。

佐藤（肇）委員長　またたびの家について、ほかにごさいませんか。（なし）ないようでしたら、またたびの家については以上とさせていただきます。

## ・須原スキー場

佐藤（肇）委員長　次に須原スキー場、リフトの安全策等についてご意見をいただきたいと思います。

富永委員　今回、大雪のために防護網の上にはいっぱい雪が積もって、防護網を支えているワイヤーの基礎のコンクリートの土台が抜けたということなんですけど、降雪が大変な状況ではあったでしょうが、除雪体制が整わなかったのかなという疑問があります。今度、新たに工事して設備する際には積雪があったとしても、ワイヤーの基がある程度の力がかかったら、外れるような工夫をしておけば、大被害にはならないかと思いますが、そんなふうな工夫が必要ではないかと思ってみました。

浅井委員　天気予報のマークにも雪のマークが見えてきました。工期も迫ってきているので営業に間に合うように安全に工事を進めてもらいたいと思いました。

佐藤（達）委員　工期の中で間に合うように進めていただきということが一つと、クワット

リフトの工事発注経過をいただきましたが、もう少し発注を5月か6月位に早期にできなかったのかという気持ちがしました。クワットリフトの防護について転倒したと、それが去年の12月ですので、去年のうちに復旧できたわけですが、今年に入り1月から冬場の間でも、この支柱、基礎がどの程度のボリュームがあつて、撤去にどれくらいかかって、据え付けるのにどんな工程で、道路がない中でどんなふうやっていくか冬場に検討ができたと思います。どういう状況だったのかが率直な疑問で、教えていただきたいところがあります。冬場に準備すれば新年度になって4月、5月遅くとも6月位には発注できたのではないかと。予定では9月発注ですので、3か月くらい前倒しできたのではないかという気がしました。もし発注、入札不調ということがありまして、もっと早く余裕を持ちながら工事を終えることができたのではないかとの感想を持ちました。

あと、大雪がきた場合にその荷重に耐えられなくて、基礎が抜けて転倒したのではないかと感じましたが、管理体制がどんなふうになっているのか教えていただけたらと思います。もし設計荷重に近いようであれば除雪体制をどんなふう考えておられたのか教えていただけたらと思います。

佐藤（肇）委員長　ほかに意見はございませんか。（なし）ほかに意見がないようですので現地の確認については、これで終わります。発注の関係で調査できなかったのか、その辺について何かあるようでしたら、お話いただければと思います。

武藤産業経済部長　降雪時に災害が起きたわけですが、積雪がある状況ですと、現場に入りづらいという状況がありました。その要因としては、二次災害です。無理して土の状況、流れた状況が全く分からない雪の中に入って調査というのは、二次災害の危険があるということから土木工事の基本として、ある程度しっかりと目視できるような状況になってから調査に入って、状況を把握した上で設計に入ることが必要でしたので、冬期間の調査、設計については課題が残るものであったと考えております。そして、今回は災害が起き、単純に現状復旧する状況であればよかったです。新たに基礎を設置して、新たに防護網を設置しなければいけないという設計計画を作る必要がありましたので、春に調査してすぐに発注とはできなくて、防護網の設計を新たに、それから発注という段階を踏んだので、5月発注はなかなか難しかったと考えております。

また、富永委員からもお話がありましたが、安全装置、一定の荷重がかかって外れてくれれば、被害的には免れる可能性がありますので、設計担当と考えて可能であるか、検討に値する部分があると考えております。

佐藤（肇）委員長　それでは、須原スキー場の件については以上とさせていただきます。

## ・寿和温泉

佐藤（肇）委員長　次に寿和温泉の件について意見を発表していただきたいと思います。

浅井委員　可能な限り地域の声を取り入れて進めてもらいたいと思いますが、やはりその中には保健所の決まり事であること、できないこと多々あると思いますので、そこは、こういう理由でできない、これはできるよと、しっかりと地元の説明をして、地元の理解を得ながら、進めてもらいたいと思いました。

渡辺委員　露天風呂の室内用の温泉にするという計画、いい計画ではないかと感じました。これは補正予算になるのか、来年度の当初予算で組むのか分からないですが、できるだけ

早い段階で、こちらが整備されることで次の段階に進めるのではないかと感じました。

それから、温水プールですけど、以前、視察に行かせていただいた時には、誰もいないぞ、というような状況でしたが、今回は小出の温水プールがなくなったということで、かなりの方がそこに行かれているように思いました。当然、小出の時ほど大勢ではないですけど、以前に比べたら利用者が増えていると感じました。やはり通うのに大変ですし、これから冬場に向かって、冬期間、高齢者の方々が通うのにどうなのかと心配があるなど思っ  
て見てきましたが、温水プールの需要はあるんだなど、小千谷のほうに行ってる方、六日町のほうに行ってる方がいらっしゃると思いますので、しっかりと計画を作って、計画ができた段階で温水プールをどうするのかも一緒に考えなければいけないと感じました。

富永委員 質疑の時間は設けますか。

佐藤（肇）委員長 はい、どうぞ。

富永委員 新しくなった露天風呂の所に内湯を造るとの考え方ですが、地域の人声を把握していないので、何とも言えないところがありますが、せっかく露天風呂棟を1億2,000万円かけて造ったのですが、もう少し人家に密集してるほうに内湯を造ればいいのではないかと思います、そういった選択肢はないのでしょうか。

武藤産業経済部長 人家に密集したというのは、入広瀬の地域内でのことですね。

富永委員 はい。

武藤産業経済部長 そういう部分も地元の要望の中にはありました。ですが、今までの経過、投資の部分を考慮した中では、現露天風呂の中に改修したほうが合理的であるという判断に至ったとご理解いただきたいと思います。

佐藤（肇）委員長 しばらくの間、休憩します。

休 憩（14：02）

（休憩中に懇談的に意見交換）

再 開（14：05）

佐藤（肇）委員長 休憩を解き、会議を再開いたします。寿和温泉に関してほかにありませんか。ないようですので寿和温泉については以上といたします。

#### ・（一社）魚沼ものづくり振興協議会（U-big）との意見交換

佐藤（肇）委員長 次に、一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会、ユービックとの意見交換ですが、これに先立ちまして、旧広神庁舎3階のコワーキングスペース等も見えていただいております。その辺も関連としてご意見いただければと思います。ございませんか。

渡辺委員 コワーキングスペースにつきましては、なんでお金をかけられないのか魚沼市とはと、本当に悲しくなってしまうような状況です。都会の若い、しかもIT等で頑張っている方はおしゃれですよ。そういう方達が魚沼市のあそこを借りて自分達で起業しようかと思うかといったら、全くといっていいほどないのではないかと、こちらから頼み込んで来てくれと言わない限り、手を挙げてくれる方がいないのではないかとと思うようなコワ

ーキングスペースでございました。今後、どのようにして在宅で仕事ができるような形で、地方で仕事をさせていただくに当たっては、もう少し広神の庁舎全体を使いながら、おしゃれな洗練されたスペースにしなければ若い方たちを取り込むことはできないと感じました。

私が小出の図書館のほうがいいのではと申しましたら、広神の議員さんから、広神には何も来ないと言われ、確かにそうだなと。食べるスペースがないと話したら、人がいれば逆にまたそこで、お食事なりを提供できるようなところも一緒に入っていただくというような形の広神庁舎の使い方もあると思いますので、お金をかけないで何かをしようと思うのは、もうやめてもらいたいと思った次第です。お金は十分かけて人を呼び込む勢いがないければ、決して人は来ないと感じました。

ユービックさんのほうは、非常に手厳しいというか、私達、議会は何をしているのかとのお話に終始したような気がしておりました。また、予算的なところですか、商工予算が少ないとの話だったのですが、予算の仕組み上、福祉や教育ですとか市がしなければいけない仕事となりますので、どうしても、そこにボリュームがありますが、商工については、企業の皆様の後方支援という位置づけが大きいかと思っておりますので、当然、規模としては小さくなるかと思っております。しかしながら、後方支援をどのようにしていくかについては、もう少し工夫がいるのではないかとの実感がありました。また、こちらのほうが何かしらお手伝いできますかと水を向けてみたのですが、商工の方達からは、予算を使ってどういう支援がほしいという話がなかったのが残念でした。また、こういった機会を重ねるごとに相手の本音も聞き出していけるのではないか、後方支援、何がしてほしいとか、あるいは予算的に魚沼のデメリットの所をどうやってメリットに変えていけるか、みたいなところも話ができいくのではないかなと感じました。

佐藤（達）委員 ユービックの皆さんと話すなかで、大きな悩みとして優秀な社員が入ってきてくれないとか、地元で高校生も含めて、ほとんど就職してもらえないといった切実な悩みがあったかと思っております。どうも魚沼にはいい働き場所がないといったような先入観的なお話があり、そういったところも大きいのではと思っておりますが、私のほうで市内にどのような企業があるか、ネットで確認しましたが、機械関係ですとか、電子部品ですとか、ソフト関係ですとか、いろんないい企業がありますが、市民の方に知られてないのではないかという気がしました。ユービックからも要望がありましたが、展示会をしてもらったり、企業の説明会とか、中高生等と企業の工場見学や、企業が部品等どういったものを造っているか、企業に紹介してもらおう機会をもっと増やしてもらいたい。将来卒業して、一旦どこかに出ても、また魚沼で働きたい、働く場所があるといったような場所を感じてもらえるように、いろんな企業との連携、地元の子どもたちにもっと知ってもらえる機会を増やしていただきたいと感じました。

佐藤（敏）委員 さっき渡辺委員から話がありましたコワーキングスペースですが、大変賛成なんです。特にコロナ禍で在宅で仕事をと国が方針を出していますし、まだ、第6波、7波も予想されますので、この機会に魚沼市ではこういういいところがあるのだということで、その予算についても恐らく国のほうに手を挙げれば、使ってくれという予算があると思いますので、その辺をしっかりと確認をして、お金をかけて人口減対策にもつながる、また空き家がいっぱいありますので、空き家へ住んでもらうとか、絶好のチャンスだと思いますので、お金と手間と頭を使って結果を出していただくようお願いいたします。



佐藤（肇）委員長　それでは、現地調査についての総括、それぞれ意見をいただきました。これをまとめるということで総括にさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。（異議なし）そのように決定しました。それでは、日程第1の現地調査の総括については、以上とさせていただきます。なお、この関係で今後とも調査が必要なものについては、本委員会で取り上げたいと思っております。

## （2）その他

### ・介護職員アンケート結果について

佐藤（肇）委員長　日程第2、その他を議題といたします。まず最初に、介護職員アンケート結果についてを議題といたします。資料が提出されていますので、説明を求めたいと思います。

小島市民福祉部副部長　（資料「令和3年度　魚沼市介護職員数等調査概要」により説明）資料については、今年度、市内の介護施設を対象としまして、介護人材確保の基礎資料とすることを目的として調査を行ったものであります。一部提出のない事業所もありますが集計結果がまとまりましたので、別紙のとおりご報告させていただきます。今後については、この資料を基に令和4年度の予算編成に向けて、また、8月4日に法人との意見交換会を行いました。その時に出された意見等を踏まえながら今後の対応について検討したいと考えております。本日は資料の調査結果がまとまったということのご報告であります。

佐藤（肇）委員長　資料を見たばかりでは、質疑というのも難しいとは思いますが、もし質疑があれば受けませんが、ないようであれば次回にしたいと思いたしますが。

佐藤（達）委員　資料の設問3の4、職員の不足要因で感じたところとして、介護人材の不足が切実なものがあるという気がします。介護職の処遇改善が大きな課題だと思いたしますが、9月の議会で私も処遇改善として資格取得を市で支援してほしいですとか、夜勤手当等を支援していただきたいといった要望をしましたが、それらを取り組んでいただいて、令和4年度の予算では介護職の人材確保に向けて大きくステップを踏み出せるような予算編成をお願いしたいと思いたします。

佐藤（肇）委員長　本日お配りした介護職員アンケート結果の中身については、出たばかりで読んでない方のほうが多いと思いたしますので、次の委員会で質疑の時間をとりたいたしますので、それでよろしいでしょうか。

渡辺委員　当然このアンケート結果を踏まえて、今後、市としてどのような支援をしていくか決めていきたいとの話でしたので、次の委員会で、ある程度どのような形でサービス、支援をしていくのかお示ししていただきたい。来年度予算に向けてどういうサービスをしなくてはいけないというのが固まらなければ、次の段階にいけないと思いたしますので、次は12月定例議会中の委員会になるかと思いたします。当局で考えていることと、私達もしっかりと読み込んで、当局で考えていることの不足のところについて、言えるチャンスがないと、次はもう予算になってしまうので、当局の中でどういうふうを考えているか、お示ししていただきたいと思いたします。

佐藤（肇）委員長　今ほどの両委員からの意見を踏まえ、次回の委員会に本件については、もっていきたく思いたします。それでよろしいでしょうか。（異議なし）そのようにさせていただきます。

## ・開業支援の拡充について

佐藤（肇）委員長 次の開業支援の拡充について、お願いいたします。

小島市民福祉部副部長 そちらにつきましては、担当の岡部健康増進課長がきておりますので、説明をさせます。

岡部健康増進課長 医師の開業支援の拡充について、お話をさせていただきたいと思います。

市内の医師不足解消のための一つの対策として、昨年度、補助金制度を創設して令和3年度予算で補助金を計上したところですが、状況に動きがない中で、もう少し拡充の方向で見直しさせていただきたいと考えております。具体的な拡充規模については、また内部でも検討を進めたいと思っておりますが、今は拡充の方向で見直しさせていただきたいということで、ご報告させていただきます。

佐藤（肇）委員長 本件について、何か質問があればお受けします。

富永委員 拡充の内容とかは、まだ決まってないということですか。

岡部健康増進課長 内容については、今までが開業支援奨励金と設備資金の補助金と、賃貸借料の補助等を考えていますが、そこを広げるのか厚くするのか、他市の例も考えてもう少し検討させていただきたいと考えております。

渡辺委員 当初予算で組んだものを拡充していかなければいけないとのことですが、それなりの理由があつてとのことだと思っておりますが、拡充しなければならない事情が、この間に何かあつたのでしょうか。他市よりも劣っているとの理由は、当初予算をつくる段階で他市を見ながら自分達のところをつくっているわけで、ここにきてどうしても拡充しなければならないのであれば、それなりの理由があるはずでは、というところを聞かせてください。

岡部健康増進課長 今まで医師会、小出病院等に相談しながら医師を探してきているところですが、今ここにきてコロナの影響で、木材が外国から入ってこないというウッドショックもありまして、建築費も高騰しているのもう少し補助の見直しも必要なのかなという考えに至りました。

渡辺委員 外的要因によって、これまでの補助金では開業医さんに建設の十分な補助ができなくなってしまったから、拡充すると考えてよろしいですか。

岡部健康増進課長 そうですね、それが一つの要因です。

佐藤（肇）委員長 よろしいでしょうか。はい、それでは本件については引き続き調査させていただきたいと思っております。

## ・スキー場について

佐藤（肇）委員長 次にスキー場についてを議題とさせていただきます。資料はありませんが報告いただきたいと思います。

武藤産業経済部長 スキー場事業者との協議の経過についてご報告をさせていただきます。本件は7月21日に開催されました本委員会でご報告しています。その時点の内容につきましては各運営事業者に対しまして、今まで過去に市が行ってました修繕料、借地料、今後、索道施設等で発生するであろう費用、想定の一覧を示し、おおむね10年程度の中長期的計画の策定を各事業者をお願いしていたところですが、当初できましたら9月末位に計画策定の提出をお願いしていたところですが、理事会等いろいろ法人の中

での紆余曲折もありまして若干時間を要してきたところです。その結果、11月1日をもって全ての事業者から経営計画の提出がありましたので、ご報告します。

只今、当局としましては提出された運営計画の内容の確認作業に着手しているところです。運営計画の詳細な中身につきましては、今ここで委員の皆様にご報告することは差し控えさせていただきますが、計画期間は概ね10年間どうしていくかという計画内容になっています。土地、建物、索道関連設備と市の保有している普通財産の取り扱いの考え方や事業者からの要望。また売り上げ増、営業努力に向けた活動方針。それぞれのスキー場における特色を生かした取組等が、その計画の中で各スキー場において示されています。ざっと見た中では、計画内容として、きらっと光る部分もありますし、また再度、事業者と確認して聞いてみないといけない項目も散見されています。今後は、この計画提出を受けまして、継続して運営事業者とのキャッチボールを行いながら、今後、市がどのような支援内容、経営手法を行っていくのが適正であるかの協議を継続して、本年の12月定例会の本委員会におきまして一定の資料を提示の上、再度進捗状況等をご報告させていただきたいと考えております。

佐藤（肇）委員長　この件について、質疑ありませんか。

渡辺委員　今後、どのような形で市がスキー場に対して支援策を講じていくかを12月位にはとのお話でした。その中で多くの議員からは、事業者への支援から住民の支援を通して事業者へ入っていくような形に変えていくべきではないかという話もさせていただいてる中で、今ほどですと産業経済部会だけでは、なかなか、例えば教育のほうでどうしていくとか、あるいは福祉の分野で介護予防でどういうふうにしていくのか、他の部局と連携しながらについては、どうなっていますか。

武藤産業経済部長　かねてより市議会からご意見をいただいた、ソフト部分での支援も大事だぞ、とご意見を承っております。その中で運営計画をみますと、これからの営業活動、利用客増に対する活動を行っていききたい、そこで魚沼市としてソフト部分での支援がどういふものができるのか、我々の部分だけではなくて、教育部局とも今後協議して、それぞれの分野で必要な支援がされて、相対的に運営計画の収支計画に載って行って、最終的にどうなのかと、そういう部分で総合的な支援を検討していきたいと思っておりますので、他部局等の協議も今後進めてまいりたいと思います。

佐藤（肇）委員長　それでは本件については、以上としてよろしいでしょうか。

佐藤（達）委員　スキー場、各事業者の取組としましては、いろんなグリーンシーズン等も含めまして、例えばモトクロスですとか頂上を整備して展望を生かしながら等、いろんな計画があると思いますが、直接財政的に支援するものではなくて、各スキー場をいろんな方にアピールという、非常に効果的な提案があるかと思えます。事業者の取組も尊重していただいて、その積み重ねによって、スキー客も増えてくると思えますし、10年間というロングスパンで大きく見ていただき、地域の交流人口を増やすように活性化できるように、そういった取組、視点で事業者を指導していただいて、事業者もただただ市から支援をもらうわけではないと思えますので、事業者なりに精一杯頑張っ、市からの支援も縮小する方向で考えていると思えますので、そういったところも十分含んでいただいて、これからの長期計画をまとめていただきたいと思います。

佐藤（肇）委員長　はい、それではご意見として伺ってもらいたいと思えます。しばらくの

間、休憩します。

休 憩 (14 : 30)

(休憩中に懇談的に意見交換)

再 開 (14 : 31)

佐藤（肇）委員長 休憩を解き、会議を再開いたします。それではスキー場については引き続き調査することと、させていただきます。

#### ・魚沼市有機センター（脱臭設備）

佐藤（肇）委員長 次に魚沼市有機センターについて、資料がありますので、まずこの説明をお願いします。

武藤産業経済部長 資料説明につきましては、大羽賀農政課長に説明をさせます。

大羽賀農政課長 （資料「令和2年度魚沼市有機センター管理運営状況報告」、「月刊 養豚会」、「魚沼市有機センターのご案内」により説明）

佐藤（肇）委員長 それから、先ほどの田んぼダムのことについて、お願いします。

大羽賀農政課長 田んぼダムの関係ですが、7月30日に、見附市でも一緒に関わっていた新潟大学の吉川教授という方がいます。第一人者なのですが面談をさせてもらい、その中で四日町排水ポンプ場につきましても、お話をさせていただいております。吉川教授から、まずはどの地域から水害を守りたいかとのお話がありましたので、四日町地域だと話しております。その中でどれくらいの流量が四日町にきているのか、流量によって田んぼダムの効果があるかないか、どこから来るものかによって決まってくる。水没する地域に田んぼダムを設けても効果がないと伺っております。四日町ですと一段上がった井口新田や七日市、そういったところに田んぼダムを設置していただくと効果があるかもしれないとの話でしたが、山に降っている雨がどれだけ七日市に入ってきて、井口新田に入ってきて、それが四日町に押し寄せて来るか、山から来るものが川に落ちていれば、その分は田んぼダムを造ってもあまり効果がないのではないかとの話もありましたので、その後、防災安全課と吉川教授ともう1回面談をさせてもらい、どれだけ効果があるのか水路の断面図等を吉川教授に渡し、まずは効果があるかどうか検証する段階に入っていると伺っています。

田んぼダムについて、農政課としては、一概に国がいうようにどこでも造ればいいものではないのかなど、吉川教授からもどこでも効果が出るとは直接伺ってこなかったもので、どれだけのものが、そこに流れ込んでいて、それにどれだけ効果があるかといったところを見ないと駄目だよといった話がありましたので、今現在、魚沼市内で効果が現れやすいところ、四日町地域がどれだけ流量が集まってくるかにもよりますが、その他の地域については、検証を重ねた上で実施するのが効果的かなと考えております。多面的支援制度の関係ですが、制度のお知らせはさせてもらっていますが、実際に手を上げるかまでは農政側としてはしていない状況です。

佐藤（肇）委員長　この件につきましては、話が進んだらということで、させていただければと思います。

それでは、これから休憩させていただいて、現地に行って確認をしていただきたいと思います。ここでしばらくの間休憩します。

休　　憩（14：39）

（休憩中に現地調査）

再　　開（15：45）

佐藤（肇）委員長　休憩を解き会議を再開します。日程第2のその他ということで、魚沼市有機センター（脱臭設備）の現地視察をしていただきました。このことについて、質疑を受けたいと思います。ございませんか。

渡辺委員　かなり効果があると実感しました。ただ、周りに穴が開いており、そこから臭いが漏れているとのことなので、その分マイナスイメージがありましたけど、今後について、教えていただけたらと思います。

佐藤（肇）委員長　しばらくの間、休憩をさせていただきます。

休　　憩（15：46）

（休憩中に懇談的に意見交換）

再　　開（15：49）

佐藤（肇）委員長　休憩を解き、会議を再開いたします。ほかに質疑等ありましたらお受けします。

佐藤（敏）委員　舟山地区もそうですが、その他の畜産関係についても、動きの説明をして地域全体で、あわせてお願いします。

武藤産業経済部長　そのようにさせていただきたいと思います。あの施設が今まで稼働してきました、大規模改修が必要な状況になりましたが、打つ手がありませんでした。前回の大規模修繕計画では当初に設計した部分を新しく同じように改修するという改修計画でした。それが1億数千万円で考えていたのですが、それでは解決に至らないため、打つ手がなかったものが、今回、佐藤委員長も含めて、いい話をいただきまして解決の糸口が見えたと考えていますので、各委員におかれましてもよろしく検討、ご協力をお願いいたします。

佐藤（肇）委員長　ほかにございませんか。

渡辺委員　ほかの畜産関係の方々も、こういったものを導入することによって周りへの臭気もかなりよくなるのではないかとのお話です。導入にあたって、市として指導も当然ながら、導入にあたっての補助金ですとか、そういうこともしっかりと考えた上で、周りの環

境も含めて地域の環境をよくしていくということで、それを理由に補助金制度もつくって  
いかなければいけないのではと思いますが、そのような考え方はいかがですか。

武藤産業経済部長　補助制度も含めまして、今回この設備を魚沼市有機センターに導入して、  
実績をまた関係者の皆様に見ていただいて、その上でご要望があるようであれば補助制度  
の検討もしていくことが必要だと考えています。

佐藤（達）委員　今回、視察させていただき非常に効果があるなと感じたのと、電気の動力  
関係についてもオゾン発生機では、数百ワット位で低動力でできる気がしましたし、効果  
があると思います。来年度の令和4年度でいろいろ検証しながら、できるだけ早期に、長  
年に渡って臭気で悩んでいる地域がありますので、市内で普及できるようにお願いしたい  
と思います。

武藤産業経済部長　そのように検討してまいりたいと考えております。

佐藤（肇）委員長　本件については、引き続き調査をさせていただくということで終わりに  
してよろしいでしょうか。（異議なし）そのようにさせていただきます。

その他、執行部から何かございませんか。（なし）委員の皆様から何かありませんか。（な  
し）ないようですので本日の委員会につきましては以上とさせていただきます。本日の会  
議録の調製については、委員長に一任願います。本日の産業厚生委員会はこれで閉会しま  
す。

閉　　会（15：55）